

空港対策特別委員会

芝山鉄道利用者駐車場・内窓体験ハウスを視察 (6/13)

空港対策特別委員会協議会が開催され、企画空港政策課長より3件の報告がありました。

航空機騒音測定結果について、1月から3月までの町内6局の測定値のうち北側にある3局で評価値が減少しており、南側の3局は前年並みの評価値であり、考えられる要因としては、前年より北風運用が多く、南からの着陸が多かったのではないかと説明でした。

有限会社ティ・ティ・エス事業報告及び利用状況等については、平成30年度当期純利益は448万3,623円であり、昨年同様1株あたり2万円の株主配当となり、町には60万円の配当があったとのことでした。管理駐車場の利用状況については前年度より5万530台増の73万5,956台、料金収入では1億630万3,730円増の11億4,561万3,300円となり、約10%の増加になったとのことでした。

芝山鉄道利用者駐車場の利用状況については、平成30年度は利用者が減少し利用台数は2万9,995台、前年比2,819台の減となりましたが、平成30年4月に料金を改定したことにより、料金収入は631万3,800円、前年比51万1,400円の増加になったとのことでした。

3件の報告終了後、芝山鉄道利用者駐車場及び内窓効果体験ハウスの視察のため、現地に赴きました。芝山鉄道利用者駐車場では利用方法などを確認し、内窓効果体験ハウスは天井、壁の防音材及び2重サッシにより約40デシベルの削減効果があるとのことでした。

(空港対策特別委員長 土井清司)



芝山鉄道利用者駐車場を視察



実際の航空機の音で防音効果を体験



内窓体験ハウス



内窓を施した二重窓

文教産業建設常任委員会

各学校、こども園を訪問 (6/11・12)

11日・12日の2日間にわたって文教産業建設常任委員会を開催し、委員全員の出席のもと、教育長・教育委員・担当課の方々と共にこども園・小学校4校・多古中学校を訪問いたしました。各校長・園長より、丁寧な説明と課題や要望を伺い、施設の状態を見せていただきました。その際に子どもたちから大きな声で「こんにちは！」と元気なあいさつをうけながら、教育現場の空気にも触れることができました。

なお、2日目の昼食は学校給食センターで中学生と同様の給食を試食し、食材は県内産・町内産を中心としており、栄養や塩分量等に気を使った調理であるとの説明を伺い大変美味しくいただきました。

小学校からの要望では、不要となった防球ネット・支柱の撤去、カーテンの更新や防犯カメラの設置、机・椅子の更新や体育館の雨漏りとトイレの壁を修繕することや、学校統合に際しての引っ越し費

用、物品処分の費用負担や駐車場増設の検討などでした。

中学校からの要望では、門扉の改修や玄関周辺の水たまりの解消と体育館わきの花壇の撤去などでした。

教育委員会には、要望事項など精査のうえ本年度予算で、あるいは来年度の予算要求に向け対応していただくようお願いをいたしました。

『多古の子、まちの子、みんなの子』
私たちは町民の皆さんと共に、子どもたちが将来、多古町に住み続けたい!! 多古町で子育てしたい!! となるよう学校教育の維持向上、環境づくりに汗をかいていきます。未来をつくる子どもたちのために……。

(文教産業建設常任委員長 飯田良一)



説明を受けながら施設内を見学(多古こども園)



給食をいただく前に説明を聞く(学校給食センター)



不要になった防球ネット(多古第一小学校)



取り組みや要望を伺う(常磐小学校)